

令和6年度 学校経営方針

学校教育目標

「自分の力を信じ 目標に向かって たくましく生きる 持田っ子の育成」

1 目指す学校像

笑顔があふれ 楽しくて 幸せを感じられる 学校（楽幸）

- 誰もが自己肯定感を持ち ありのままの自分が認められる場に（子どもを大切にする学校）
- 子どもの成長を通して 家庭の笑顔が増える場に（保護者と共に成長する学校）
- 地域に開かれ 地域と連携し 地域の誇りとなる場に（地域と協働する学校）
- 教職員にとって 互いに尊重し合い 自己成長ができる場に（教職員がやりがいを感じる学校）

2 めざす子ども像

も 持っている学力をさらに伸ばそうとする子（確かな学力）

- ・主体的に取り組む力
- ・自分で考える力
- ・計画を立てて学ぶ力
- ・方法を工夫して解決する力

ち 挑戦する気持ちを持ち、得意なことを高めていこうとする子（心身の健康）

- ・粘り強く取り組む力
- ・目標を立てる力
- ・自分の成長を振り返る力

だ 誰に対してもやさしい心を持ってかかわろうとする子（豊かな心）

- ・他者と対話する力
- ・命や人権を大切にする心
- ・互いの思いや立場を考えて行動する力

3 めざす教職員像

豊かな人間性と愛情にあふれる教職員 ～ そこに 愛はあるんか ～

- ・子どもを認め、励まし、伸ばす教職員
- ・わかる授業づくりに努める教職員
- ・子ども、保護者、地域から信頼される教職員

令和6年度のテーマ 「かかわる力を高める」

4 学校経営の重点

(1) 子どもを大切にす

～誰もが自己肯定感を持ち、ありのままの自分が認められるために～

① 自分を大切にし、やさしい心を持ってかかわろうとする態度を育てる【人権教育】

- ・人権への理解を深めるとともに、人権感覚を高める活動を通して、自他を大切にする心を育成する
- ・温かい人間関係を構築し、お互いを尊重し認め合う、安心できる集団づくりをする
- ・子ども一人一人が、大切にされていることを実感する教師の姿勢と学校風土をつくる

② 学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感し、確かな学力を育成する【学力向上】

- ・子ども一人一人の「やる気スイッチ」が入る課題や活動を工夫し、主体的に学習する力を育成する
- ・温かい人間関係に支えられた学び合う授業をつくり、対話力や確かな学力を育成する
- ・電子黒板やタブレットを活用し、効果的な指導や個に応じたきめ細やかな指導を充実する

③ 特別支援教育の充実を図る【特別支援教育】

- ・交流学习、発表活動、障がい理解教育等を通して、共に育ち学び合う教育活動を充実させる
- ・子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた支援を充実させる
- ・特別支援教育に関する校内研修を充実させ、共生社会の実現に向けた教師の指導力向上を図る

④ 進んで本に親しみ、豊かな心を育てる【図書館活用教育】

- ・図書館や読書環境を整え、主体的に読書活動をする子どもの意欲を育てる
- ・朝読書や読み聞かせ等、多様な読書活動を推進し、想像力や豊かな心を育てる
- ・主体的に追求する活動を通して、情報活用能力や思考力・判断力、表現力を育てる

(2) 保護者と共に成長する

～子どもの成長を通して、家庭での笑顔が増えるために～

① 発達支持的生徒指導の確立を図る【全ての子どもの幸せを支える生徒指導】

- ・子どもが生き生きと活動できる基礎的な環境整備を家庭と連携して取り組む
- ・子どもの幸せを願い、伴走する生徒指導を家庭や地域と連携して取り組み、生きる力を育む
- ・家庭学習の習慣化を家庭と連携して取り組み、子どもの学ぶ力を育成する

② ふるさと・キャリア教育を推進する【ふるさと・キャリア教育】

- ・ふるさと教育の実践を通して、多様な生き方にふれ、自分の生き方をえがく力を育成する

- ・キャリア教育の実践を通して、子ども一人一人の夢を育み、実現に向かって努力する力を育成する
- ・様々な人々と共に活動することを通し、対話力や多様性を尊重する態度、国際感覚を育成する

(3) 地域と協働する

～地域に開かれ、地域と連携し、地域の誇りとなるために～

① 開かれた学校づくりを推進する【学校運営協議会】

- ・保護者や地域住民の学校経営への参画や支援
- ・協力を促進し、連携・協同体制を確立する
- ・学校の情報を積極的に発信することを通して、本校教育について理解を求める
- ・保護者や地域との連携を密にして信頼関係を築き、一体となって子どもの成長を支える

② 地域とのつながりを大切にしたい学校づくりをする【地域学校協働本部事業】

- ・地域学校協働本部事業（地域講師、地域ボランティア）を活用し、ふるさと教育の充実を図る
- ・地域に暮らす人とのかかわりを通して、実感の伴ったふるさとへの理解と愛着を深める
- ・地域行事や地域の活動に積極的に関わり、学校と地域との信頼関係を深める

(4) 教職員がやりがいを感じる

～教職員にとって、互いに尊重し合い、自己成長していくために～

① 授業力の向上に努める【学び続ける教職員】

- ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む
- ・授業の基盤となる子どもたちの人間関係づくりや学級風土づくりの工夫に取り組む
- ・ICT 機器を活用した授業実践に取り組み、子どもの主体的な授業の在り方を探求する

② 児童理解・児童支援に努める【子どもの視点、思いからの児童理解】

- ・日々の学校生活の中で常に児童理解に努め、抱えている背景や課題をとらえ支援する
- ・子どもの背景をとらえ、教職員がチームとして連携して子どもの支援に取り組む
- ・外部機関と相談や連携をし、様々な立場からの専門的な意見を聞き、対応する

③ 組織的な取組を推進する【一枚岩で力のある組織】

- ・教職員一人一人が持ち味と個性を発揮し、互いに学び合う同僚性のある関係づくりに努める
- ・教職員一人一人の課題を共有し、学年部や各主任、各委員会等が一つの方向性を持って対応する
- ・子どもの安心安全を第一に考え、危機管理体制を整え、様々な状況に連携して対応する